

栗東市保育所等入園基準指数表及び調査表

(令和8年度)

児童名		年齢		歳児		園名		
事 項						点数		備考
						父	母	
親のいない家庭		死亡・行方不明・拘禁				11	11	
		離婚・未婚・その他				10	10	
①労働	就労・就労内定	月20日以上かつ 1日6時間45分以上の就労				10	10	就労証明書
		月16日以上かつ 1日6時間45分以上の就労				8	8	
		月20日以上かつ 1日5時間以上の就労				8	8	
		月16日以上かつ 1日4時間以上6時間45分未満の就労				7	7	
②妊娠・出産		産前8週となる日が属する月の初日から産後8週となる日の翌日が属する月の末日まで				—	6	母子健康手帳の写し
③傷病・障がい等	傷病	入院、おおむね1か月以上				10	10	医師の診断書
		居宅内療養	常時病臥		10	10		
	一般療養		安静を要する状態(常時病臥に至らない程度)		6	6		
	心身の障がい	身体障害者手帳1・2級 療育手帳A1・A2 精神障害者保健福祉手帳1級				10	10	障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の写し
身体障害者手帳3・4級 療育手帳B1 精神障害者保健福祉手帳2・3級				6	6			
④同一世帯の病人等の介護	入院その他施設等付添	月20日以上かつ 1日6時間45分以上の付添				10	10	医師の診断書、介護被保険者証の写し、障害者手帳の写し等
		月16日以上かつ 1日6時間45分以上の付添				8	8	
	自宅介護・看護	重度障がい者等の全介護・介護認定(3～5)				10	10	
		上記以外の介護の場合				4	4	
⑤災害		災害等による自己家屋の損傷、その他災害復旧のため保育ができない場合				10	10	罹災証明書
⑥求職活動		求職(開業準備含む)のため、外出を常態				3	3	確約書
⑦就学・職業訓練		通学		卒業後に就労を目的とする月16日以上1日4時間以上の就学等		6	6	在学証明書、カリキュラムのわかる書類等
⑧育児休業 (在園児のみ適用)		育児休業取得時に、すでに保育を利用している兄・姉(在園児)が対象で、継続利用が必要であること。 育児休業の対象となる子が満2歳になる月の月末まで。 父母両方が同月に育児休業を取得した場合、合計6点となり退園となります。				6		就労証明書
⑨その他		①～⑧に類する状態であると市長が認める場合				各号に同じ		
小計								※①～⑨までの要件ごとに採点し、合算しない。
加算要件・減点要件	保護者が栗東市の定める保育所・認定こども園・地域型保育・幼稚園で保育士・保育教諭・幼稚園教諭として就労(予定)している場合				6			
	ひとり親家庭で祖父母等と別居している場合				2			
	令和7年度に市内の保育所・認定こども園(保育園籍)・地域型保育に在園している場合※令和7年度途中退園を除く				3			
	兄姉が既に市内の保育所・認定こども園(保育園籍)・地域型保育に入園している新規申込み児童の場合(弟妹にのみ加算)				3			
	市内の地域型保育(小規模保育、家庭的保育)等を利用し、同施設の卒園により他の保育所・認定こども園に申込み場合				1			
	同児童が週5日以上、有償で認可外保育施設等を利用している場合				1			
	父または母が就労に伴い単身赴任により別居している場合(祖父母等と同居している場合を除く)				1			
	保育可能な祖父母等(65歳以上の方を除く)が同一住所に居住している場合				-2			
	保育料等に滞納がある場合				-8			
	市や施設に相談なく保育料等に滞納がある場合				-12			
	公的機関が、社会的養護等の配慮が必要と認める場合				5			
	調査員判定	年 月 日	調査員	印	加減合計			

備考 (1)保護者それぞれに、保育を必要とする項目に応じた基準指数を求め、加算・減点分を合算して当該世帯の指数とする。
(2)就労時間は、拘束時間とする。
(3)1日の介護時間は、最低、日中4時間以上の介護を常態とする。
(4)同点の場合は、原則多子世帯を優先します。

※ 13点以上が入園対象の基本となる。